

活動分野	地域部会（南総部会）		
タイトル	清和県民の森イベント「鑑賞炭づくり」		
実施日時	平成30年2月17日（土）10時～14時		
実施場所	君津市 清和県民の森		
受講者	2組3名	FIC会員他スタッフ	7名

### 活動の内容 冬の定番企画「鑑賞炭づくり」

鑑賞炭は、簡単な設備でいろいろな植物をそのまま焼いて、自然の造形美を楽しむことができます。清和県民の森では、デーキャンプの施設を使って、毎年このころ「鑑賞炭づくり」のイベントを実施しています。今年は2組3名と、応募者が少なく、さびしい企画になりました。



清和県民の森・木のふるさと館

しかし、参加者はリピーターの方々に、手順を理解している顔見知りなので、和気あいあいと楽しんでいただきました。主催者の挨拶の後、会場に移動して、鑑賞炭づくりの手順を、①材料集め②間に詰め込む③火を燃やす④蒸し焼きにする⑤焼き上がりを確認する⑥作品取り出し⑦器に飾るなどの作業の流れとそれぞれの注意点を説明しました。今回は、参加者の皆さんが材料を持参され、県民の森側で用意したのもあったので、材料集めは省略し、一人当たり複数の缶を焼ける状況だから、同じ形態のもの、似た素材のもの、など焼き上がり時間が同じになりそうなものを同じ缶に詰めた安全策と、いろいろ混ぜたチャレンジ策の缶をそれぞれ作りました。



蒸し焼きにする

小学3年生の参加者に点火してもらい焼き始めです。20分間は最大火力で燃やします。しばらくすると、白い煙が出てきます。さらに燃やすと青紫の煙が出てきます。この青紫の煙が出なくなったら焼き上がりのサインです。

FICスタッフが缶をかまどからか下ろしたら缶をさまします。早く焼きあがったものと、焼き上がりに時間がかかっているもの間は焼き芋タイムです。アルミホイルでくるんだサツマイモをかまどで焼いておいしくいただきました。また、昼食にはおいしい



材料を選択

味噌汁の差し入れをいただきました。昼食後は作品を籠に飾って反省会です。「松ぼっくりだけ詰めたらうまく焼けた。」「竹は焼くのに時間がかかるので混ぜて詰めてはいけない」「冷める前に缶を開けたから松ぼっくりが燃えてしまった」「3回目の参加でしたが、毎回、うまく焼けたものと失敗したものと両方ができて、嬉しい気持ちと悔しい気持ちが混ざりあって次こそは…と今から来年の炭焼きに思いを馳せています。」とコメントをいただきました。



品評会



作品